

学講座 (42.7.5~42.11.15 の毎週水曜日, 大阪科学技術センター)
主催: 大阪科学技術センター
後援: 土木学会関西支部 ほか 10 学協会
題目: 12 題
参加者: 48 名

(8) 第7回幹事会 (42.11.29, 好文倶楽部) 出席者: 河村支部長, 伊藤幹事長, ほか 17 名。

(9) 第18回騒音振動委員会 (42.11.14, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, ほか 13 名。

(10) 騒音振動委員会幹事会 (第15回) (42.11.14, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 4 名。

(11) 幹事交替
幹事近藤時夫氏は 11 月 15 日国鉄構造物設計事務所次長へ転出のため, その後

任として国鉄大阪工務局土木課長 福田利光氏に幹事を委嘱した。

◎中国四国支部

(1) 昭和 42 年度支部総会ならびに第 19 回学術講演会

1. 開催場所
学術講演 岡山市古京町 三光荘
特別講演 岡山市内山下 岡山県庁
総会 " "
2. 日時 昭和 42 年 11 月 21, 22 日
9.00~17.30
3. 出席者 総会 200 名
特別講演会 200 名
学術講演会 150 名
4. 特別講師 5 名
5. 報告者 39 名

◎西部支部

(1) 巡回映写会

- 10 月 24 日 下関市 140 名
25 日 北九州市 130 名
26 日 佐賀市 210 名
27 日 長崎市 160 名

(2) 特別講演会 (42.11.26)

- 場所: 福岡市天神ビル 90 名
講演:
欧米の道路雑感
九州地建建設監督官 藤井 崇弘
九州地建建設監督官 藤井 崇弘
沖繩の土木事情
日本道路九州支店長 岡上 忠夫
第 12 回国際水理学会に出席して
九州大学教授 篠原 謙爾

(3) 支部総会および研究発表会

昭和 43 年 2 月下旬 福岡市にて開催します。2 月号会誌, 会告にご留意下さい。

編集後記

学会誌の表紙が変わった。年が改まり, 内閣の顔ぶれが入れ替わり, ポンドの価値が変わり……。変わったといっても, 始めから変更の予定されているものから, 予期しない変化まで種々様々である。予期していた変動には, どうとう……」といて感慨を新たにしていればよいが, 想像外の突然の変化に対してはショックを受ける。

「なんとすっきりした表紙になったもんだ」と感慨を新たにして, 本年度も学会誌をご愛読願いたい。年が改まり, 過去から現在までを振り返って感慨にひたったところで, さてこれから先はどうだろうかと, 各人で思いをはせていただくというのが, 新年号の編集意図である。“土木界の動向をさぐる/総合と分化の観点から”という特集テーマに関連して, 編集者側の依頼にこたえ, それぞれの方面でご見識の深い三氏から玉稿をいただくことができ, そのうえ, 藤井正一郎氏より技術史的な面からのご検討を加えていただくことができた。

一方, 懸賞論文の課題は, 土木工学の将来に関連してこれを分化と総合という観点からとらえるというものであったが, 待望の一席受賞論文を紙面に掲載することのできたことは編集者としても喜にびたえない。学生の部の論文では, 20 世紀の姿に議論が沸騰するだろうと予想していたが, 期待にはずれて応募数が 1 件にすぎなかった。次回には筆をとられんことを望む。

本特集をお読みになり, 日ごろ折りにふれてお考えになっていらっしやることをあらためてご検討になれば, 各自のデータから延長した土木工学の近い将来の理想像から, あるいはまた SF 小説に類似の想念に至るまでのいろいろな姿が浮んでくることと思われる。その結果を学会誌で会員にご披露願えることを期待している。増岡委員長, 高橋委員という名音頭取りの下で, 35~40 才を中心とし, なるべく分化と総合という点に絞ってシンポジウムを行なってみれば, 紙上ご覧のような賑やかなものになった。会員諸賢の論議の展開を通じ, 土木工学の前途が次第にはっきりとした姿で浮き彫りにされ, 将来を見通した仕事ができ, これからさきは, いつでも「どうとう……」という感慨に, ひたることができれば幸いである。

また, 今月から「郷土の土木」というタイトルの記事が, 2 ヶ月続けて 1 ヶ月休むという体裁で, 1 年以上にわたって掲載されることになった。各地における先人の偉業, 特色のある事業, 近代的工事などが支部単位で紹介されるからご愛読願いたい。この記事が載るまでに約 1 年の準備を要したが, その間に各支部の方々に非常な御苦勞をお掛けした。とくに西部支部は初陣を承わるわけで, 御心勞のほどはなみ大低ではなかった。ここで御詫びと御礼を申上げる次第である。

(森 忠次・記)